

術後は、麻酔から覚めた後も、合併症や異常所見の有無を観察します。退院診察後に帰宅となります。

■起こりうる合併症とその対策

- ① 妊娠した子宮は柔らかいため、子宮頸管拡張や流産手術の際、まれに子宮に穴が開くこと（子宮穿孔）^{しきゅうせんこう}があります。子宮穿孔が確認されたときは、開腹手術など、輸血、子宮全摘、他臓器損傷の可能性があります。子宮穿孔により、次の分娩が帝王切開になる可能性があります。また、まれに腸や膀胱等、他の臓器に穴を開けてしまう危険性があります。
- ② 静脈麻酔の際、呼吸抑制、血圧低下、ショック、^{ごえん}誤嚥などを起こすことがあります。その場合は、必要な薬物を投与して、全身管理を行い、安全確保に努めます。
- ③ まれに、出血が多くなる場合があります。子宮の収縮が不良の場合は、子宮収縮薬を投与しますが、出血が多量の場合には、開腹手術、輸血、子宮全摘の可能性があります。
- ④ 術後に、子宮内に感染を起こす可能性があります。下腹痛と発熱があれば、入院して、抗菌薬で治療することがあります。
- ⑤ 子宮内容物は十分除去しますが、それでも、まれに組織が残ることがあります。このために出血が続くようであれば、残った組織を再手術で除去することがあります。
- ⑥ 術後の検査や合併症の治療、再手術などの場合も追加費用がかかることをご了承お願いいたします。

■術後の留意事項

- ① 手術後に、強い下腹痛と発熱、あるいは多量出血があれば、外来を受診し0てください。
- ② 術後、約1週間後に外来を受診していただき、術後の回復が順調かどうか診察します。
- ③ 排出された組織は病理検査を行い、胞状奇胎などの病気でないことを確認します
- ④ 流産は決してまれなことではなく、次の妊娠で流産しやすくなることもありません。

■その他の特記事項

(_____)

流産手術をお受けになれる患者様へ

白山レディースクリニック

Tel 03-5689-3070

夜間緊急 080-4004-3566

手術日は 月 日です。

- お帰りの際はどなたかに付き添いをお願いしてください。難しい場合は、必ずタクシーでご帰宅ください。
 - 喘息のある方は、手術前にお申し出下さい。
1. 手術では静脈麻酔をかけますので、**当日0時以降は絶食**としてください。
(お茶・お水のみ朝 5時・13時まで可能です。)
 2. 喫煙により手術中に窒息する恐れがありますので手術1週間前から禁煙してください。
 3. 8時30分・14時00分に来院し、『手術同意書』を受付に提出して下さい。
(この書類がないと処置できません)
費用は手術料・薬剤料・超音波料・材料費等で約25000円です。
 4. 手術は麻酔を含めて30分ぐらいの予定です。手術後は麻酔の影響が残っていますのでリカバリールームで2,3時間休んでいただき、退院診察で問題ないことを確認してご帰宅となります。
水分は術後2時間以降、食事は4時間以降から可能です。
 5. ご帰宅後も麻酔の影響が残っていますので安静にしてください。
 6. 本日と明日は、シャワーはかまいませんが、入浴はしないで下さい。
 7. 本日は夕食後に抗生剤(レボフロキサシン)を内服してください。また、痛みが強いときにはロキソニンを服用してください。
 8. 手術当日の帰宅後より抗生剤(レボフロキサシン)と子宮収縮剤を内服してください。子宮収縮剤は収縮痛が強い場合中止してもかまいません。また、痛みが強いときにはロキソニンを服用してください。
 9. 翌日の術後検診で順調であれば普通の生活で問題ありません。

*** そのほかの注意事項 ***

- 口紅・ファンデーション等のお化粧品はなさないで下さい。また、マニキュア・付け爪・アクセサリー・コンタクトは手術の時にはずしてください。
- 手術当日は月経程度の出血があります。出血が多いときにはクリニックまたは夜間緊急連絡先へご連絡ください。
- 熱や咳の出る風邪をひいていると麻酔がかけられません。症状が治るまで手術日を延期します。

*** 持ち物 ***

手術同意書・ねまき(上は半袖で)・生理用ショーツ・夜用ナプキン(大)・スリッパ